

## 【草花の部屋】

### アゲラタム (キク科アゲラタム属 Ageratum )

**和名** : カッコウアザミ (霍香薊)、ムラサキカッコウアザミ

**別名** : オオカッコウアザミ **英名** : Floss flower、Pussy foot

キク目 多年草 **原産地** : 熱帯アメリカ

**花言葉** : 信頼、安楽、幸せを得る、安心感 **花色** : 青、桃、白



← 写真-1 アゲラタム

撮影日 : 2015年7月14日

撮影場所 : インターラーケン(スイス)にて

撮影者 : M さん

↓ 写真-2 アゲラタム

撮影日 : 2015年7月14日

撮影場所 : インターラーケン  
(スイス)にて

撮影者 : M さん



インターラーケン(スイス)の市街からユングフラウが望めるヘーエマッテ公園を散策中に見かけました。

アゲラタムは、ふわふわとした質感の青や紫の花を次々と咲かせながら、こんもりと茂って生長します。育てやすく花期も長いので、花壇や寄せ植え、ハンギングバスケットによく用いられています。また、手間がかからず初心者にも育てやすい花です。

背丈の低い種類から高いものまで流通し、高性種は花壇や寄せ植えの背景や、切り花としても人気があるそうです。本来は多年草ですが、寒さに弱く冬には枯れてしまうため、日本では1年草として扱われています。

アゲラタムの仲間は約 40 種あり、花色はブルー系が一般的ですが、白や桃色の花が咲くタイプもあるそうです。

栽培されるのは主に、カッコウアザミ (*Ageratum conyzoides*) とオオカッコウアザミ (*A. houstonianum*) で、現在は花つきがよく、花がより目立つよう改良された F1 品種(一代雑種)の利用がほとんどだそうです。

花期は 5 月～11 月で、花期になると、茎の頂部に頭状花序を出し、アザミに似た筒状の小さな花を多数咲かせます。筒状の花は花冠が 5 裂して浅く、雌蕊の花柱が長く突出します。

葉は心形～卵形で縁に鋸歯があり、下部では対生、成長して茎が伸びると互生します。茎はよく分枝して、こんもりと茂ります。

和名の藿香薊(カッコウアザミ)は、葉のかたちが薬草のカッコウ(シソ科の多年草)に似ていて、アザミのような花が咲くことから付けられたそうです。

### <ちょっと一言>

#### \*頭状花序

主としてキク科の花に見られる花序で、多数の花が集まって、一の花の形を作ります。

#### \*カッコウ(藿香)

シソ科のパチョリ (*Pogostemon cablin*) の地上部を乾燥したものです。漢方的には、解暑、健胃、止瀉の効能があり、特に夏の感冒、頭痛、嘔吐、下痢などに用いられ、多くは水蒸気蒸留したパチョリ油として、香水の調合などに用いられるそうです。